



地区ニュース



People at Peace

PR情報委員長 飯塚平八郎・副委員長 八嶋誠・委員 西野茂 田久保辰男 山村政男 本内直貴 月崎春仁 荻野武雄 鎌田雅郎・地区ニュース編集委員 渡辺誠之 川崎忠男

5月から12月までの人事、 思いきった人事の流動化で新しい活力を...

ライオンズ国際協会 333-C地区ガバナー L. 吉原稔人

7つのRでの会長との懇談、そして、それに続く公式訪問は、私にとって新しい発見の旅であった。地区内のゾーンには、それぞれユニークな個性があり、暖かい人情に溢れ、のびやかな活力に満ちていた。キャビネット構成員とクラブ会長のリーダーシップを実感すると同時に、会員の皆様との対話のなかに、ある場合は素朴なライオンズの愉しさ、又ある場合には鋭いライオンズ活動への提言に触れ、教えられることの多い旅であった。対話には、単なる報告だけでは知り得ない何かが、常にあった。例えば、房州白浜クラブは、表の上では縣下で会員数が一番少ないクラブである。だが、人口当りの会員数は、縣内28市のいずれもかなわない高密度なクラブである。自信を持ってさらに充実のために前進して頂きたいと思う。

地区とクラブの絆を深めるため、公式訪問のあり方を可能な限り通常の例会スタイルに近付けるといふ。本年度のささやかな試みは、ZCとホストクラブの心のコモった協力により、予期した以上の成果を得たと思う。

公式訪問でお願いしたように、退会防止一ゼロ・ドロップアウトに対する本年度キャビネットの基本姿勢は、単に数字上の問題ではなく、会員が退会を考えないような真に魅力あるクラブ運営のための方策は何か、ということである。その幻滅防止作戦のトップに挙げられるものは、思いきった人事の流動化であろう。期待されている者に幻滅はなく、会員にクラブ活動への快い犠牲を求

める所に、真のクラブへの求心力が生まれる。国際会長プログラムの一つ和の芽を若人へ、の英文は「若者の潜在能力を啓発せよ」である。この言葉を置き換えれば、そのまま退会防止のテーマになる。つまり、会員の潜在能力を啓発し、単なる序列人事を廃し、思いきった適材適所主義をつらぬく所に、新しい活力が生れる筈である。ライオンズにおける寛容の精神が最も必要な場所は、その人事の流動化を暖かく見守るところにある。誤解のないように申し添えると、人事の流動化は、単に若い会員層の登用を意味するものではない。ある時はご年配の会員の人生経験と調整能力、ある時は若い会員の新鮮な発想と行動力のチェンジ・オブ・ペース、よりワイドな人事の振幅が、会員に新しい意欲をもたらすということである。

2ヶ月に亘る訪問での対話を通じて痛感したことは、野にも遺賢が満ち満ちているということであった。その遺賢に適所をお願い出来れば、333-C地区は明るい未来のなかにある。それが実感である。

英語に「メイ・デセンバー・マリッジ」という表現がある。つまり、12月（年配の男）と5月（若い女）との結婚である。このしゃれた言い方に従えば、人事の流動化は、さしずめ「5月から12月までの人事」ということになる。さてあなたは「精神的に、何月だとお考えですか。



世紀の祭典『日本ライオンズ30周年全国大会』盛大裡に終る 皇太子殿下のお言葉、朗々と



本大会は、10月8日14:00から日本武道館において開催された。秋雨そぼ降る中、館を埋めた関係者は15,000名。村上国際会長以下、各国国際理事夫妻は、10月3日から京都において開催の国際理事会を、そのまま武道館へ移したような格好で、錦上花を添えた。

大会プログラムの概要次のとおり。

演奏 東京消防庁音楽隊
陸上自衛隊第1音楽隊

- (第1部) 司会 八木治郎
- 14:00 開会
 - 14:01 ライオンズ祝典序曲演奏
国旗・ライオン旗入場・掲揚
 - 14:05 物故会員への黙禱
 - 14:07 皇太子殿下同妃殿下ご臨場
〈君が代、ライオンズ・ヒム〉斉唱
 - 14:12 ご挨拶 30周年記念全国大会委員長
L 吉永通雄
 - 14:16 皇太子殿下お言葉
〈祝典行進曲〉演奏
 - 14:20 祝 辞 ライオンズ国際協会会長L村上 薫
 - 14:25 マニラホストライオンズクラブ表彰・記念品贈呈
初代ガバナー 故L石川欣一夫人へ花束贈呈
東京ライオンズクラブチャーターメンバー表

彰・記念品贈呈

- 地区ボランティア代表表彰・記念品贈呈
- 14:35 映像〔日本ライオンズ30年の歩み〕上映
皇太子殿下同妃殿下ご退場
 - 15:05 (第1部) 閉会 〈休憩・10分〉
 - (第2部) 司会 L見上良也
 - 15:15 開会
 - 15:16 記念講演 福田赳夫元内閣総理大臣
 - 15:40 ミュージック・ショー・イン・ライオニズム
出演:島田祐子 指揮:前田憲男 演奏:
荒川康男アンサンブル
 - 16:10 閉会

次いで、晩餐会は同日18:00から、帝国ホテルにおいて、孔雀の間(A会場)・富士の間(B会場)に分かれて開催された。

冒頭、吉永大会委員長からは「皇太子殿下は、ライオンズの発展を心から賞せられ、幾つかのご下問まであり大変光栄であった。また、福田元総理は、盛会のもと満足裡に講演ができたとのことで嬉しい限りである」旨の報告に添えて挨拶が行なわれた。

L岩井半四郎らの司会により、鈴木都知事の祝詞、村上国際会長への肖像画贈呈、アトラクションと、会はすばらしい盛りあがりを見せた。(H.I.記)

〔第1四半期〕地区項目別アクティビティ

地区副幹事 L 渡辺誠之

333-C地区が誕生して、はや4ヵ月、月報を拝見すると、各クラブ共真剣に奉仕活動に取り組んでいる姿がひしひしと胸に迫ってきます。

ライオンズ年鑑によると、アクティビティを10項目に分け分析していますが、ここでは、5項目に大別し、7月、8月、9月の第1四半期、当地区の行ってきたアクティビティの概略をグラフで比較しました。今後の奉仕活動の一助ともなれば幸いです。

1. 青少年育成

青少年のスポーツ、レオクラブ育成、ボーイ、ガールスカウト援助、YE関係奉仕等

2. 地域社会への奉仕

清掃、まつりへの参加、老人への奉仕、交通安全の指導等

3. 身障者への奉仕

養護施設、学校への援助、眼球銀行への援助等

4. 献血

5. その他

LCIF協力、国際親善、犯罪被害者救援基金への協力等。

● 労力ACT

		件数	時間(%)	
113	青少年	育成	50.4	
108	地域	社会	31.8	
身障者	22	7.7		
献血	24	9.3		
その他	4	0.8		

● 金銭ACT

		件数	金額(%)	
182	青少年	育成	45.2	
75	地域	社会	26.5	
身障者	47	14.5		
献血	25	4.8		
その他	70	9.0		

会報発行状況 (ガバナー公式訪問回答書より)

R	Z	クラブ名	発行				発行せず	
			定期	不定期	回数	平均頁数		
1	1	市川	○		12	6		
		市川東	○		6	8		
		下総中山	○		6	8		
		浦安	○		6	8		
		行徳	○		6	5		
		市川北	○		6	4		
	1	2	松戸	○		6	8	
			柏	○		3	14	
		我孫子	○		3	8		
		柏中央	○		4	4		
2	1	流山	○		12	6		
		松戸中央	○		4	8		
		柏グリーン	○		6	12		
	2	松戸東	○		4	6		
		船橋	○		2	8		
		船橋中央	○		2	15		
2	1	鎌ヶ谷	○		4	4		
		沼南	○		4			
		習志野	○		3	35		
	2	八千代	○				○	
		船橋東	○		4	5		
		船橋京葉	○		2	20		
3	1	成田	○		3	12		
3	1	佐倉					○	
		四街道			3			
		千葉	○		12	2		
		市原		○	1	8		
		千葉中央	○		12	4		
		千葉エコー	○		12	6		
	2	市原南	○		4	12		
		千葉京葉		○	2	12		
		千葉若潮	○		12	2~4		
	4	1	銚子	○		2	15	
			佐原		○	2~3	12	
			東庄	○		12	3	
		2	神崎	○				○
			大柴	○				○
			八日市場					○
5	1	旭	○		6	10		
		総武中央					○	
		飯岡					○	
	2	多古					○	
		千潟	○		6	10		
		山田町			2			
5	1	木更津			2	12		
		木更津中央					○	
6	1	袖ヶ浦					○	
		木更津金鈴	○		4	12		
		富津	○		4			
	2	上総		○	1	10		
		君津	○		12	8		
		君津中央					○	
	6	1	館山	○		2	12	
			館山南					○
			館山中央			1	10	
		2	館山北					○
			館山南					○
			鴨川	○		12	1	
	7	1	房州白浜					○
			房州朝夷					○
			房総勝浦					○
2		茂原					○	
		上総一宮					○	
		茂原長生					○	
7	1	白子					○	
		東金					○	
		大網白里	○		1	4		
	2	九十九里					○	
		成東					○	
							○	

ライオンズム随想

先づ龍となれ!雲自ずから来たる!

地区PR・情報委員長 L 飯塚平八郎

今期も既に4カ月余りが過ぎた。C地区ニュースNo.1では、ガバナー所信に続いて、各長の抱負などが紹介された。果たして満足な成果を収めつつあるだろうか。

次に掲げた項目について、それぞれの立場でチェックして見よう。

○国際会長テーマ

People at Peace “みんなで築こう和の社会”

○地区ACTスローガン

豊かさとし知性で創るコミュニティー

○CABの年間テーマ

150万会員への道・退会防止一ゼロ・ドロップアウト

○ガバナーの具体的方針

1. 平和の種子をまこう(例:植樹)
2. 理解で和の社会を(例:LC国際財団へ寄付)
3. ライオネスを通じて和の心を育くもう(より多くの女性に奉仕の機会を提供)
4. 身体障害者に心の平和を(盲人、聾啞者、身心障害者の為のプログラムを後援・同時に地区内で視力障害者2人以上の視力回復に努力)
5. 和の芽を若人に(学生弁論大会、青少年交換、国際ユース・キャンプを行い、又レオクラブをスポンサーする事等により、全クラブが青少年プログラムを支持)
6. 和のあふれるリーダーに(各クラブは地域社会の他の奉仕団体との連絡委員会を設け、お互いのコミュニケーションを強め、地域報道機関とも連絡を保つ)
7. 皆で平和の担い手を求めよう(全会員が新会員1名以上をスポンサー・そして新クラブの結成を)

○各長の自ら定めた方針

○発表された諸統計

ライオンズは、知的な人間の自由集団なるが故に、各メンバー・各単位クラブには節度が求められる。勿論、節度の維持は、そのインテリジェンスに俟たなければな



らないが、今日、殊に要求されるものは、リーダーシップそのものではなからうか。

“小さな政府”と自ら遜って独立した333-C地区の初代ガバナーらが、先ず志した理念は、“豊かな政府・豊かな地区”の創造であった。「豊かさとし知性で創るコミュニティー」である。

このことは、奉仕活動に対しての姿勢を示すのみに止まらず、我々の愛するこの組織集団が、常に鮮度豊かに保たれることへの願い、即ち豊かな行動力・リーダーシップを求めて止まないものであったと考えるのだ。

上半期も、やがて非情に通り過ぎる。長と名のつくメンバー、なかんずく各会長に、特段のリーダーシップの発揮を願うものである。

“先づ龍となれ! 雲自ずから来たる!”

D D G シ リ ー ズ

時間づくり

4 R, DDG L 北総栄男

「ライオンと呼ばれる人」の一節に、「事業を成功に導く人」とあるが、ライオンズクラブの活動より、個人事業の方が優先する、というのがメンバー一般の共通した認識のようだ。

一部のメンバーの中には、例会出席の悪さをカバーする言訳と思われる場合もあるが、事実、仕事におわれライオンズに身を入れることが出来ないメンバーが沢山あります。昨今の日本経済を見た場合、これもいたし方のないことでしょう。

一方、事業の業績を大いに上げ、人一倍忙しいと思われるメンバーが、例会出席率100%を続けているという

例も多く見られます。

このように、世の中は理屈通りにはゆかないから、面白いのかも知れません。結局、「事業を成功に導く人」とは、人づくり、金づくり、時間づくり、の出来る人ということになるのでしょうか。最も忙しい時間をやりくりして、例会に出てくるメンバーなら、仕事の面でも計画性があるろうし、責任感も強かろうから、うなずける事である。とすると、「例会出席率＝事業成功率」となりはしないだろうが……。

私としては、これでも理屈を述べながら、例会出席率の向上を呼びかけているつもりなのである。

波紋のように

6 R, DDG L 紫関 孝

1968年晩秋の頃、鴨川市のある先輩から、勝浦市にライオンズクラブを結成してくれないかとの要請をいただきました。即答は致し兼ねました。そして私としては基本的に検討を致しましたが、何分にも未知なものですし、ある程度のメンバーを募る事は大事業であります。そこで親しい友達3名に相談しましたところ、努力をして見ようじゃないかと言うことで意見の一致を見ましたので、4名のキーメンにて募集の為に活動を始めました。メンバーの人選には慎重を期さなければなりません、幸にしてより良きメンバーをスポンサーすることができ、努力の甲斐があって、総員36名の会員を得る事ができましたことは、ライオンとしての自信を覚えることでもあったのです。

そして1969年2月21日待望の房総勝浦ライオンズクラブ結成式、1969年6月15日には国際協会長より認証状の伝達を受けることができました。私は浅学非才もかえりみず初代会長として、この幸せは一生忘れる事はできません。

そこでライオンの一人としてなんといたしましても心構えのあり方であろうかと存じます。まずウィサーブの精神に徹する事であり、その奉仕の大小ではなく、日常のお小遣いを節約してでも地域社会に役立つならば、一人の人間としてこんな幸せはないと存じます。

333-C地区ライオンズ憲章に示されております5項目にわたる内容を再確認を致しながら、その理想実現に少しでも近づきたいと思えます。又地域社会に投じた小さな善意が、波紋の広がるように大きい奉仕になる事を念じ、和気藹々と楽しみながら市民に理解と共感が得られる奉仕活動をめざして努力して参りたいと念じております。私もライオンとして12年余りの年月を過ごしてまいりましたが、私なりに微力をそいで来た次第であります。現在333-C地区第6RDDGという大役をいただき恐縮しております。吉原ガバナーの方針に最大の御協力を申し上げ、ライオンとしての責任の一端を果たして参る所存であります。

感動!! 吉原ガバナー公式訪問

5 R P R情報委員 L 月崎春仁

吉原ガバナーは、小雨けふる9月12日、5 R 2 Zを皮切りに、翌13日同1 Zを公式訪問された。新地区誕生初の、しかも、新ガバナー誕生後12日目に行われる、正に処女訪問である。

吉原ガバナーは、地区分割の精神をふまえて、新しい公式訪問の在り方と方針を強く打出され、あくまでも、セレモニー、即ち式典調をやめ、ありのままの例会スタイルを、との要請であった。ところが、お受けする5 Rは、つい先年、木更津キャビネットを持ち、各地で熱狂的な歓迎をいただいた経験がまだまだ去来するだけに、関係者は、その対処に苦慮した。吉原ガバナーの方針は尊重しなければならず、さりとて、粗略にすぎて無礼があつてはということで議論百出、結局ガバナーの要請に従い、形式を廃して心あたたかくお迎えするということに一決。会食をはさんでの砕けた運営ぶりは、非常に和やかな空気を生み出した。

吉原ガバナーのご挨拶も暖さがこもり、式場前ガバナーの方針を継承されるあたりのお話は、今は亡き先師敬慕の真情があふれ、吉原ガバナーの人間性の一面にふれる思いがしきりであつた。

杉浦名誉顧問会議長から、吉原ガバナーの経歴と、プロフィールについて紹介があり、メンバーに強い信頼感を与えた。T. Tタイムは限りなく楽しく、苦心のアイデアに心がこもり、温さの上に錦上花を添えた。

なお、T. Tタイム、ドネーションを君津郡市青少年健全育成基金に、1 Z 70,950円 2 Z 43,500円 合計 114,450円を贈った。

4 R P R情報委員 L木内直義

9月26日午後1時、1 Zの会場である鯉屋旅館に吉原ガバナー一行が到着した。一行は、吉原ガバナー、永藤幹事、北村副幹事、渡辺副幹事の方々である。会場は東庄LCの努力のあとがうかがわれ、身のひきしまる会場となった。

訪問は、東庄LC城之内幹事の司会、林東庄会長の開会ゴングではじまり、青野ZCの報告、各クラブ会長の報告となった。

須藤銚子C会長は、今期9月迄に350万のドネーションをもとに、地域内に幅広く奉仕活動をする。中沢佐原C会長は、青少年健全育成、E X Tに力を入れる。林東庄C会長は原点にかえり、クラブを見直し、魅力ある例会をする。郡神崎C会長は、青少年健全育成に力を入れると同時に、町内に密着したACTをする。伊能大栄C会長は、現

在会員16名を今期内に25名にする事に全力をそそぐと力説した。

続いて、吉原ガバナーが挨拶。

「ガバナーの公式訪問は式典ではない。同じライオン同志が心と心のふれあう場である」とソフトに語りかける。又、「本年度のキャビネット方針は式場理念を継承します。したがって、本年度の地区スローガン「豊かさとし知性で創るコミュニティ」は奉仕活動とライオンズ組織にわたる目標であります」と静かに、しかもじゅんじゅんと、さとしがごとく語りかける話術は、メンバーに深い感銘をあたえた。

そのあと質疑等があり、また逢う日迄を合唱し、意義あるガバナー公式訪問をとじた。

4 R 2 Z Z C L穴沢 光

ガバナーL. 吉原稔人の御臨席を得て、有難く存じます。

さて退会防止、会員増強は、村上国際会長、式場前ガバナー、吉原現ガバナーの年間テーマであり、我々はその線に沿って努力せねばなりません。特に会員数40未満のクラブは、極力努力せねばなりません。会員増強月間である10月こそは、是非その実を挙げて戴きたいとお願いいたします。

次にやや抽象的ではあるが、基本の問題に就いて考えて見たい。退会防止、会員増強に対しては勿論、クラブ運営ACT等、クラブの内外において最も大切なことは、コミュニケーション、それもいい加減でなく、愛と英知を伴ったコミュニケーションではないかと思考します。そこに、友情と問題に対する知恵が湧いて来て、解決の方途がわかって来ると思います。三人寄れば文珠の知恵と申しますが、いい考えや秩序が生れて参ります。これが自由主義の基本であり、戦後我が国が一大躍進を遂げた根本であったとは、識者の等しく指摘する所でありませぬ。式場前ガバナーのスローガン「豊かさとし知性で創るコミュニティ」の意味する所も此処にあると考えます。蓋しコミュニティ造りの基礎はコミュニケーションにあると思うわけです。(只の善意だけでは何の結果も得られません)

但しその際、コミュニケーションの糸口を造る者がなければならぬ。即ち何人かの積極的発言をする者がなければなりません。矢張り立場上、会長こそ批判を恐れず、勇敢に問題の言い出しっぺになり、リーダーシップを取ることを期待したいと思います。つまり提案とコミュニケーションの先頭に立つことが、即ちリーダーシップを発揮するということになると思います。(リーダーシップ発揮の具体的方策)



〔銚子LC〕 青少年健全育成剣道大会を主催
第17回ライオンズ旗争奪青少年健全育成剣道大会は、9月9日、銚子市体育館に於て、東総地区の小中高校76チーム、600名の選手が参加し開催。銚子市剣友会、東総学校剣道連盟が後援。(4RPR情報委員L.木内直義記)



〔銚子LC〕 銚子市秋季少年野球大会を主催
第8回少年野球大会は、8月22日より26日まで開催、須藤会長より優勝校には優勝大旗とメダル、準優勝校には、楯とメダルを、連日休暇を返上して大会の運営に当たった市野球協会と鼓笛隊に金一封を贈呈。



〔大栄LC〕 献血ACT
献血者・147名
採血量・29,400cc



〔大栄LC〕 幼稚園児を梨狩りに招待
8月22日、幼児教育の一助として、幼児よ、すくすく伸びよ、の願いをこめて、町内の幼稚園児150名を梨狩りに招待。参加L、14名



〔東庄LC〕 東庄町タートルニックに協力
8月20日、東庄町主催のタートルニック大会に協力し、町内各地区から会場までの老人送迎を担当。



〔旭LC〕 夏休み科学工夫工作展を主催
9月3日、旭、飯岡、海上3市町の小中学生が、夏休みに製作した工作作品による「科学工夫展」を主催。継続3年目になるこのACTは毎年好評で、学校からも大変感謝されており、審査員(県発明協会)の先生も絶賛。



〔八日市場LC〕 チャリティバザール開催
9月1日、国際障害者年記念事業の一環として、チャリティバザールを行い、八日市場身障者福祉会へ、助成金20万円を贈呈。写真は、助成金を贈呈する会長。



〔八日市場LC〕 カーブミラーを清掃
9月6日、交通安全事業として、ボーイスカウト30名の協力を得て、市内350か所にあるカーブミラーを清掃。会員の労力ACT33名、26時間。尚、当日ボーイスカウトに10万円の助成金を贈呈した。



〔千潟LC〕 重度身体障害者を梨狩りに招待
8月22日、身体障害者年にちなんで、千潟町内の重度身体障害者7名を、大柴町梨園に招待、梨狩りを行い、一緒に参加の父兄より、大変感謝された。参加ライオン19名。



〔飯岡LC〕 学童教育キャンプ大会を主催
8月1日より3日まで、青少年健全育成事業の一環として、学童キャンプ大会を開催、学校からも大変感謝されたACTであった。



〔木更津中央LC〕 鳥居崎公園を清掃
8月2日、ガールスカウトの協力を得て、市内鳥居崎公園の清掃ACTを行った。写真は清掃が終って、晴ればれとした記念撮影。



〔上総LC〕 回収した空かんとトラック3台分
ライオンズデーの10月8日、観光地房総への主要道路馬来田駅から亀山駅間で、心無きドライバー達が捨てた空かんと汗だくで回収。なんと小型トラック3台分にも達した。



〔木更津金鈴LC〕 交通事故防止におしぼり作戦
うだるような暑が続く8月9日、海へ行く大渋滞の車に、交通事故防止を呼びかけながら、おしぼりを配る作戦を展開。



〔木更津金鈴LC〕 身体障害者をクルージングに招待
8月9日、身体障害者に、海の楽しさを味わってもらおうと、クルージングに招待。



〔木更津金鈴LC〕 カナダからのYEに記念品贈呈
8月18日、カナダからのYEを招いての歓迎例会を開催。席上、高沢DDGより記念品を贈呈した。



〔船橋京葉LC〕 献血者県下180万人目が誕生
大型台風の影響を受ける前日の8月22日午後3時過ぎ国電船橋駅前で行われていた船橋京葉LCの献血会場で、昭和39年、千葉県赤十字血液センターが発足以来180万人目の協力者、広瀬けい子さんに記念品を贈呈。



〔千葉LC〕 日本初の身障者ビームライフル射撃大会
8月2日、我国で初めての「第1回千葉県身障者ビームライフル射撃大会」が、千葉LC主催、千葉県ライフル射撃協会主管、日本ライフル射撃協会後援のもとに県ライフル射撃場で開催された。(写真は選手宣誓)



▲出場選手は県立養護、聾学校他各施設の方々に、終了後、公認記録証、賞状、賞品、参加章が交付された。今後も、このような催しが全国的に採り上げられ、国民体育大会出場の道が開かれるよう、理解と協力をお願いしたい。(写真は、車椅子に乗って撃つ選手達)

クラブ・ネスクラブ・レオクラブ・Y E 便り

ライオネスクラブ3役と ライオネス連絡員研修会

9月19日午後2時から5時まで、千葉クラブで開催された。参加クラブは、船橋中央・館山・千葉京葉・君津袖ヶ浦・木更津金鈴の各クラブ全員が出席され、ライオネスクラブの育成には、ガバナー時代から強い関心（欽）心をおもちの杉浦名誉顧問会議長も出席されたので、ご挨拶をいただき、手塚委員長から次の順序で研修事項について、資料を配り解説が行われた。

1. 会長の任務と目標
2. 幹事の任務（特に提出書類と提出先と期限）
3. 年間会費の納入について
4. ライオネスクラブ結成への協力
5. ライオネスへのアワードについて
 - ①100%出席（1年・5年、以上5年毎）
 - ②長期在籍アワード（1年・5年、以上5年毎）
 - ③メンバーシップアワード（スポンサー2名）
 - メンバーアドバンスメント（スポンサー6名）

各クラブ会長から現況報告をして頂いたが、各クラブとも、親クラブへの協力は絶大なものがあり、ライオネスならではのキメ細いACTが計画されている事は、大変よろこばしい事です。

質疑応答の時間も充分設けて、活発な質問や意見の発表交換もあり、実に有意義な研修会であった。



袖ヶ浦のL木場連絡員から、ガバナー公式訪問の折にこの研修会を、LC3役研修会と同時に実施してほしいという要望があったが、その必要性が実感として湧いてきた。来年度の研修会はそのように実施することにした。

なお、このような会合は、各クラブの情報交換と親睦のためにも、年に2～3回実施してほしい、という意見もあり、千葉京葉LSの桜木会長さんから、親睦の意味で、12月13日にチャリティダンスパーティーを計画していますので、ぜひ大勢のLSの方々のご参加をお願いしたいというPRもあり、再会を約しなごやかに解散した。

ライオネスクラブ の歌

かねてから、ライオネスクラブの歌を制定してほしいという声がありましたので国際本部に照会していましたが、要領を得た返事がないため、複合地区として、メンバーによる手づくりの歌を募集することになりました。ふるって応募して下さい。

ライオネス(クラブ)の歌(歌詞)募集要項

- 1 応募資格・ライオネスクラブ会員
(LCメンバーのアドバイスは自です)
- 2 歌詞の長さ・自由
- 3 応募用紙・用箋に1枚1点(1人何点でも可)
- 4 送り先・ライオンズ国際協会333-C地区
キャビネット事務局
「ライオネスクラブの歌」係
- 5 応募メ切・1981年11月30日必着
- 6 アワード(賞)・複合地区LS委員会で審査

入選 1名	} 副賞は検討中
佳作 2名	

(注) 歌詞の人選が決定次第、作曲募集をしますが、初めから曲を同時につけて下さっても結構です。録音テープをつけて下されば、なお結構です。

レオクラブ3役と レオ顧問研修会

9月20日(日)午前11時から、千葉ロイヤルプラザホテルで開催された。地区内5クラブの中、1クラブが欠席となり少々淋しさはあったが、実のある研修会であった。レオクラブは、スポンサークラブのACTとして育てる所に意義がある訳で、レオ3役の研修会より、レオを指導するレオ顧問の研修会こそ肝要であろうと思います。研修事項は次の通りです。

- ① レオプログラムの目的と方針について
 - ② レオプログラムの存在価値の認識
 - ③ ライオンズ・レオ両クラブの関係
 - ④ レオクラブ会長・幹事・会計の任務
(特に幹事の提出書類と期限・提出先)
 - ⑤ レオクラブ結成への助言
- 質疑応答に充分時間をとったが、ライオネスと違って



た。各クラブのレオ顧問から指導上の意見(感想)を述べレオからの質問より、レオ顧問からの質問が活発であった。各クラブのレオ顧問から指導上の意見(感想)を述べてもらったが、銚子の常世田顧問から「レオの指導をやっていると、2~3年すると、他人にまかせられない程愛情が湧いてくる。子供は全部自分の子供と思って、時には叱ることも大切である」という話が印象に残った。レオは気ながに根気よく指導すべきであろう。今年度は、複合地区でもレオ指導要項について取り組んでいるので、年度内には何とかなるものと思う。

YE!!短かった40日間

地区青少年対策、ライオネス委員長 L.手塚 勇

“派遣、

今回のYEプログラムは、すべてB地区当時に準備をされ、C地区としては、初仕事で派遣生を送り出した訳で、準備万端進められた水戸CABに心から感謝申し上げます。C地区からの派遣学生は、男子4名、女子5名で、7月17日、21:15、成田発JAL,771でオーストラリアに竹内佳子さんが、21:50、成田発JAL,775で坂井健一君がニュージーランドへ出発し、18日、15:30発JAL,4で木下弘美さんと岡田浩美さんが、サンフランシスコへ出発。17:20発JAL,62で寺嶋沙季子さん、上原秀美君、石井慎一君が、ロスアンゼルスに向けて出発し、最後に18:00発、JAL16で押見七絵さんがバンクーバーに飛び立った。

YEの目的は、交換学生として選ばれた前途有望の青少年が、LCのスポンサーにより、招かれて外国を訪問し、指定の家庭に一定期間滞在し、家族の一員として待遇される。この間、異国の地域社会を観察、身をもって



8月2日~4日 日光・高照ホテルでYE来日学生サマーキャンプが開かれた。

ありのままの日常生活を経験しつつ、その土地の人たち、特に同年輩の青少年たちと親しく接し相互理解を深め、新しく友愛が生まれ国際感覚を養い、親睦と協調の精神をつちかう、とされている。従って物見遊山の観光旅行とは全く異質のものであり、派遣生諸君の自覚にまつほかはない。さて、派遣学生も若者らしく希望に目を輝かして成田を出発し、アメリカをはじめカナダ、オーストラリア、ニュージーランド等で予定通りの日程をすごし、8月30日、すっかり成長して無事帰国した。成田でパスポートを機内の網ポケットの中に忘れてきて、なかなか出て来られない友人(他地区)のために気をもんでいた者もあった。これも友情である。出迎えの地区役員に握手を求める学生もあり、これが他国での40日間の生活で自然に握手の手が出るようになっていた。このように動作や外見で大きく成長したのであり、内面的、精神的な収穫、成長は期して待つべきものがある。派遣先のそれぞれの家庭や、地域の人々、LCメンバーと交流を重ね、ふれあいの輪を広げて、同年代の人たちと親しくなり、新しい友情が生まれ、国際感覚を養い、国際親善の小さな使者としてYEプログラムの目的を果してくれた。

9月6日、午後2時から、市川の八幡会館で帰国報告会を開催したが、9名の派遣学生は異口同音にライオンズの国際的な組織と友情に支えられたYEプログラムを賞賛し、貴重な体験ができてライオンズに感謝している。と言っていた。また、ある者は、アメリカで永住したくなったと言う人もあるかと思うと、若いお母さんにすっかり気に入られて、別れるのが悲しくて涙が出て仕方が



なかった者もある。来日学生が別れる時の光景と同じで、涙を流して、みんなが別れてきたのであろう。派遣生の脳裏には、一生忘れられない青春のビデオテープが出来ている。これを時々引出して思い出し、今後の生活の糧となれば幸である。

「受入」

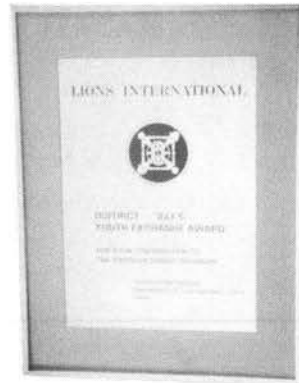
7月12日、14:30着でカナダから、17:10着でアメリカから、それぞれ来日学生が到着した。ほとんどが、ジーン姿という軽装で、大きなトランク、1ヶ、あるいは小さなショルダー、2ヶ位でやってくる若者もいる。成田の到着ロビーに集合して、簡単にC地区手塚委員長から歓迎の挨拶、B地区船津委員長から来日学生滞在中の注意事項を伝え、それぞれのホストファミリーに引きとられて行った。今回のC地区への来日学生は、第1ホスト5名、第2ホストは1名増で6名である。

8月1日までは、第1ホストで生活をし、8月2日には日光のホテル高照に集合して、2日～4日までサマーキャンプを行い、第1ホストから第2ホストに来日学生は引きつぎをされた。丁度滞在の折返し点であり、ホームシックにかかっている者も多少あるので、このサマーキャンプで、別れ別れの友人達が、日本で再会して、気分を一新して第2ホストへ行く訳で、2日の開会式には複合地区からも、ガバナー協議会議長、L清水武男、YE委員長、L味田基も参加して下さった。その他、B地区ガバナー、L佐藤貞夫もご出席下さった。(C地区ガバナー、L式場俊文夫は他界され葬儀の日であった)午後2:30から開会式を行い、記念撮影の後、国際交流として日本間で、地元表千家社中の方々のお茶の接待があり、夕食会は日本食で、座布団におすわりをして、箸の使い方もうまいものである。これも20日間滞在の成果であろう。夜は8時から同宿の東京の小学生と共にキャンプファイヤーをやって、唄い踊って氣勢をあげた。翌3日は、東照宮、華厳の滝、中禅寺湖、奥日光等を見学し、4日は朝食後、反省会を行い、閉会式後10時に解散し、来日学生たちは、第2ホストに引きとられて行った。(このサマーキャンプは、B地区ですべて準備され心から感謝申し上げたい)

来日学生諸君は、気分一転して新しいホストファミリーのお世話になってそれぞれが、忘れられない思い出をつくって8月22日、ホストファミリー、LCメンバー、地区役員、(C地区はCAB会議のためYE委員のみ)に見送られて、別れの涙を流しながらTCATから成田行のバスに乗った。(成田発、18:00、JAL、64と20:20発、JAL、16で帰国)ボロボロ涙を流す可愛い子ちゃん、うるんだ目で泣きたいのをこらえる男子学生、ホストの方々も涙で言葉にならず、手を握り合ったり、抱き合ったり、こんなきれいな涙はなかなか見られない——
——YEとはすばらしい!!

YEホストファミリー慰労会

地区青少年対策・ライオネス委員長 L 手塚 勇



ホストファミリーに贈呈された地区ガバナーアワード

今年の夏に実施されたYEプログラムは、すべて無事に終了することが出来ました。YEプログラムの中で、派遣と受入とは相関関係にある訳です。今年の日本全体のそれを比較して見ると、派遣626名、受入は夏251名、冬49名で計300名である。2倍以上の派遣でここにも輸出過剰の誹りを免れることはできない。

輸出過剰の要因に、アメリカの例でみると、日本のように親の丸抱えて出かけるのとは違って、自分でバイトをして旅費を稼いでから出かけて来る訳で、人員が少なくなってくるのは必然である。

話はそれてしまったが、YEでは、ホストファミリーのご協力がなければ、成功はあり得ない訳で、派遣した家庭では必ず1回は受入をしてもらう必要がある訳です。

今夏ホストファミリーを引受けて下さった方々をお招きして、地区ガバナーから記念のアワードを贈り、お互いに思い出話や、苦労話、YE委員会への注文などを聞かせて頂いて、今後の参考にしたいと考えて、この会を催しました所、誠に残念ながら、11家庭の中3家庭のご参加で残念でしたが、大変参考になるご意見も拝聴できました。おいでになれなかったホストファミリーの方々にも紙上をお借りして、厚く御礼申し上げます。

あなたのご家庭に国際的なムードを

YEのホスト・ファミリー

募集中

地区青少年対策(YE・レオ)ライオネス委員会

わがライオンズ像

2人の盲人に光を与えた、故式場ガバナーの献眼

ACT・福祉・環境保全委員長 L 寺田定雄

昨年、市川LCが20周年記念事業の一つとして、献眼運動の推進を決定したとき、式場ガバナーは非常な熱意をもってこの問題に取り組まれた。ご家族は勿論、知人にまで登録を勧めて歩かれた。

7月中旬、医学的にみて式場ガバナーの病状が絶望的となり、1～2カ月と宣告された時、内局員は、献眼の問題をどのように奥様にお伝えしたらよいか悩んだ。日夜を分かたぬ看護にすべてを捧げておられる奥様を前にして、最後までこの問題を口にするにはできなかった。

7月31日夜、思いもかけぬ急な訃報と共に、只今、献眼手続きをおとりになっているという連絡を受けた時、思わず涙が溢れるのをどうすることもできなかった。

順天堂大学病院からの連絡によると、規則により、相手の方々の名を明かすことはできないが、式場ガバナーの角膜は、2人の方に新しい光を与えられたとのことである。

公式訪問で村上国際会長が訴えられた「各地区で2人の眼に光を！」という要望を、式場ガバナーは、自ら、



9月5日、故式場ガバナーの七々忌にあたり、未亡人から100万円の基金を受領する、寺田地区委員長

しかも第1号として、これを果たされたのである。

更に七々忌法要の折、ライオンズクラブを通して、金100万円也を、(財)高松宮妃癌研究基金および(財)日本眼病銀行協会へ寄付された。

自信を持とう

地区指導力開発委員長L. 池田 清

私のゴルフ歴は20年余に為るが一向に上達しない。むしろ年々下手になりつつある。昔を忍べばこれでもハンデ13になり、業界ゴルフコンペでは県下十傑に屈せられ、関東一都七県の歯科医師コンペに出席したこともある。処で二三年前から私は水癩癩という病にかかり、どうしても池越のコースとくると、ボチャンとやってしまうようになった。親しい友人は何故だろう、普通に打てば必ずこの池は越える筈だがと言う。然し当の御本人は、どうしてだろう何故だろうと考えるだけで、一向に池が越えられない。従って研究もした。飛球距離を巻尺で計って見た。確かに越える筈で越えねばならぬ距離なのだ。いやいや俺は五年前痛風にやられたので、もう体力的に望みないのかとも思った。ゴルフとお別れかと失望其の極に達し情なくなった。

とある日、友人とプレイしていた時、「先生ドライバーでなくスプーンで打っては」と言われたのである。私は「君ドライバーで打って越えないものがスプーンで打

って越えるよ」と答えたが、どうせ越えはいいものならやってみるかで悪い球を探し、あきらめた気持でポーンと打った。何とそれは見事な飛球である。ランこそないが池は軽く越えて、距離もドライバーとチョボチョボ、私は飛び上がって喜んだ。それ以来スプーンの愛好家になって、スタートの3ホール位はテイショットは専らスプーンに変えた次第。以来この池でポーションはなく自信を持った。論争ではドライバーでも越えるが。

“世の中に押しでも駄目なら引いてみな。”という言葉がある。まさにその通りだが、要は自信を持つことだろう。ライオンも役職はできないと思っているからできない。やってみる勇気が必要とは前号で記した通り。従って吾がライオンは、任期一年とはまさに快適で、広く人材を発掘してその任に当て、すべからく人事の適配を計ることがクラブの発展につながることを確信し、会員各位は勿論、クラブの指導力が開発されると思う次第です。

心すべきクラブの努力

弱小クラブの汚名返上

大栄ライオンズクラブ会長

L. 伊能明磨

大栄LCは、弱小クラブとして、細々とその運営をつなぎとめてまいりました。

しかも前年度末には更に退会する者3名を数え、16名までに落ち込むに至りました。

そこでこの打開策を如何になすべきか、例会の中で真剣な討議が数回行なわれました。

結論として、現在の会員1人が1名をスポンサーすれば32名になるではないか、そうだ、この目標で頑張ってみようと言うことになった。

まず7月第1例会に、最初の見込み、6名の中から、3名が入会。続いて第2例会に3名が入会され、22名の会員数となりました。

更に新会員数からの協力を得て、近く2名の入会が見込まれ、増強策はみのりつつあると言えましょう。

そこで、この機をとらえて、活発なクラブ活動を企画し、積極的な行動を開始しようとしております。

即ち、

- ① 献血運動への積極的な協力参加
- ② 交通安全標識の新設
- ③ 幼稚園児の梨狩り招待
- ④ ねたきり老人の慰問
- ⑤ 町民マラソン大会への協力

取り敢えずこの程度のもので実行に移しながら、例会の中で更に取り入れる事業があれば取り上げ、ライオンズクラブの在り方の再認識を図り、会員増強へのきずなにしたいたいものと思っております。

今後も変らぬ御指導をお願い申し上げながら近況の報告をいたします。



1 C, 3名以上の 会員「純増」を…

あなたご自身がスポンサーになることを、常に考えて下さい。

地区会員・EXT委員会

いこい・ゆとり・なごみ

●柏LC, L片岡義一(寿曜) 民謡大会を主催

L片岡は民謡の名取。さる9月23日には、柏市民文化会館において、盛大なる寿曜会民謡大会を催した。

柏市・トランス市姉妹都市委員長、L寺嶋周三是、
“L片岡はカリフォルニア州トランス市との国際交流にも、民謡を通して立派な貢献をしている。”と激賞。

(H.I.記)

●義父とライオンズ談議

早大時代、日本新記録をひっさげて、東京オリンピックの400ハードルに出場活躍した、L飯島恵喜。現在は家業の呉服店を継ぎ、旭市の陸上競技団体の理事長をしながら旭LCの教育委員長として活躍中である。間があるとき、細君の父君4R-2Z, CL穴沢とライオンズ談議に花を咲かせている。(4RPR委員 L木内直義 記)

●母子3人のマラソン姿

小学生の男の子2人をつれた若いお母さんが、毎夕7時ごろになると、トレパン姿で“ファイト! ファイト!”と走ってくる。なんともいえない微笑ましい話。大きくなったら、あの子達はライオンズに入ってくれるかな!

●頭毛に関する一行知識

頭毛の寿命……………平均3年～6年
頭毛の成長速度……………1ヵ月1cm～1.5cm
頭毛の数……………約10万～12万本
1日の脱毛の数……………40本～50本

いこい・ゆとり・なごみ

八千代ライオンズ クラブの動向

L・秋葉琢磨

地区ニュースには初登場。創立12年目のわがクラブは
当市が東京のベッドタウンとして生れたことに端を発す
る。人口約13万人。会員40名は習志野LCを親として誕
生し、「団結と融和」を礎として、あらゆる方面に活躍し
ていん。即ち、福祉活動の数々、献血事業、献眼・献腎
等の諸講演、ライオネス・子供達を混えての納涼会、近
隣ライオンズとの交流、来年度よりは、カナダ人学生の
世話も依頼されている。

インターナショナル故、職業、年齢、人種、生活、学
歴と全てが異なるが故に、より多くの人々とは交流を深め、
刻印となんものをより多く後世に残したいものであるが、
実際は八千代市という小さなゾーンに留っての活動であ
ることは否めない。

今や宇宙時代、レーザー光線を始めとする宇宙での各
種合成・破壊も平和的に利用されれば、大きな効果が、
期待されるが、一方軍事的利用度への傾向が強まれば、
一瞬にして不幸の極に達してしまう。世界のライオンズ
は「平和と団結と協調」を守り「人類の平和と繁栄」を
合言葉の如く願っているものであろう。

八千代ライオンズの人達の多くは世界大会へ出席でき
る日もそう遠くはあるまい。多くの国々へ有志が訪れ、
親睦懇談の中で見識を広め、交流を深め、明日への活力
を貯えるであろう。21世紀は義理、人情の薄れる時代で
あるという。そんな中でライオンズの理念を、より多く
の人々にPRして行こう。よろしくご鞭導を。(医師47才)

3000本の桜で ライオンズの森建設

八千代ライオンズクラブ会長L・小久保 敏

「認められるライオンズに……」が今年の指標。これ
を心とすれば、その具体的方策は「地域社会発展のため
の実践」であります。それを表わす言葉として愛の心
で社会を結ぶ」の会長のスローガンのもとに活動を続け
ています。

従来から続けている献血、身障児慰問等のほかに、今
年から、献腎・献眼に、空缶拾いやカーブミラー拭掃な
ど、環境浄化運動を推進していきま。しかし最重点事業
は、何と云っても、今年からスタートする4年継続の、
結成15周年を記念する「八千代ライオンズの森」の建設
事業であります。

八千代市が提供して下さる場所に、桜の苗木3000本を
植えます。数年後は、この桜並木が壮観を呈し、開花期
には、市民の心呼びさまし、きっと八千代市の名物と
なるでしょう。

あなたの街に、もう一つ 新クラブ結成を!!

国際理事会方針により、本年度より、リージョンの
最低数が10クラブになりました。

地区会員・EXT委員会

「地区ニュース」への寄稿のお願い

編集部では、次のような記事や写真のご投稿をお待ち
しています。

・わがライオンズ像（問題提起と討論の場

- 〓 これからのライオンズ像、
- 〓 これからのライオンズを考える、
- 〓 これからのアクティビティを考える、
- 〓 私のアイデア、 等を歓迎します。

- ・ユニークなアクティビティ
- ・心すべきクラブの努力紹介
- ・いこい・ゆとり・なごみ

L以外の記事でも可。リジョン内の文化・行事
・メンバーが知りたいこと、メンバーに知らせた
いこと、ユニークな家庭、楽しい例会等、なんで

も可。

- ・有意義な論説やコラム
- ・YE・レオ・ライオネス関係記事

投稿要領は次のとおりです。

- ・締切 偶数月の15日(10日間延ばしました)
- ・宛先 CAB事務局(なるべくPR委員経由で)
- ・用紙 なるべく指定原稿用紙(PR委員所持)
- ・字数 「いこい・ゆとり・なごみ」の記事は、な
るべく130字以内。その他は、特別記事を除
き、なるべく300字以内。
結論を簡素にお書き下さい。



こちら内局

勝負は上半期にあるという。奉仕活動の昂まりは、運営の習熟度、円滑化を土台にして、一層際立ってこよう。——それは計数に表われてくるが、単に数字や形体に捉われないで、月報から読みとることが、真摯なクラブ幹事さんに応える道というもの。併し推測を加えずに報告内容一本で記録集計してゆく場合、表現技術の巧劣、資料の多寡などが折角の活動内容を正確に伝えていないのではないと思われることもあり、この辺の配慮から、サブレポートその他各種報告形式を一律に需める近年の傾向となったのであろう。

今年からサブレポートは不要であるが、クラブの考えで、月報だけでは表わし難いとされる場合は任意形式でご報告を補足して頂ければ幸甚。

併し、単県一地区の有難さ、素顔の例会拝見を謳った公式訪問は、不足の部分を可成り補って、今期分割の狙いのひとつは果せている。

月報集計上、例えば献血でAクラブは50,000cc、Bクラブは49,800ccと出たときAクラブがアワード金賞Bクラブは銀賞。などという多勢に無勢地域差なりのクラブ努力も誠意も無視する愚劣な相対評価をやめようという方針は貫けそうである。クラブの地元近く、一番よくその実態を見ているDDG、2ZCの見解を加えた奉仕活動の総合判断を期待している。スポーツの成績順位ではない、「彼は成し得たことの故に敬服に値する。併し、別の彼は成し得るであろうことの故に又敬服に値する」と譚う西洋の箴言がある。クラブは夫々の持ち味を生かして、必ずしも既往の奉仕パターンに捉われることなく、「ユニーク賞」を期することも面白い。

一部の人の背のびした奉仕目標でなく、クラブ全員に支えられ、真のニーズに応える奉仕活動を月報が伝えてくるときの内局の歓声をご想像下さい。

(副幹事 L. 北村泰彦)

キャビネット人事紹介

333-C地区では、吉原幹事のガバナー就任に伴い、新幹事及び新会計に、それぞれ、市川クラブのL永藤一行及び、L関口博之が就任した。

L永藤は地区会計から、L関口は地区副幹事からそれぞれ推荐された。両Lとも、ライオン歴20年、L永藤は80~81年度会長、L関口は市川ライオンズクラブの現会長である。

永藤幹事の緻密な計画性と、その温容、関口会計の創造性と剛直な人柄は双壁であって、吉原がバナーを補佐すると最も適した人事といえよう。

(市川LC PR委員長 L. 井上真市)

●準地区の役員多簿は、メンバー各位にお渡し済みですが、333-複合地区役員は下記の通りです。
'81~82 333-C複合地区役員・委員会名簿 (333-C地区のみ・順不同)

- | | |
|--------------------------------|-----------------|
| ガバナー協議会会計・緊急援助資金委員会・国際理推選委員会委員 | L. 吉原稔人 (市川) |
| 会則委員会委員長・ライオン誌日本語版委員 (編集長) | L. 杉浦 明 (君津) |
| YE委員会委員 | L. 手塚 勇 (富津) |
| レオ委員会委員 | L. 樋口大輔 (銚子) |
| 長期計画リサーチ委員会委員 | L. 吉田政勝 (習志野) |
| 国際会長支援委員会委員長 | L. 榎 智光 (千葉) |
| ガバナー協議会事務局管理委員会委員 | L. 永藤一行 (市川) |
| 監査委員 | L. 池沢 稔 (千葉エコー) |
| 年次大会顧問 | L. 斉藤貞雄 (船橋) |

物故会員

昭和56年7月から10月の間に、333-C地区では、7名の方が逝去されました。ここにつつしんで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申しあげます。

- | | | |
|-------|---------|-------------|
| 習志野LC | 故L朝岡啓一 | 昭和56年7月3日 |
| 市原LC | 故L滝沢彌吉 | 昭和56年7月10日 |
| 市川LC | 故L式場優文夫 | 昭和56年7月31日 |
| 館山南LC | 故L北山茂雄 | 昭和56年8月9日 |
| 佐原LC | 故L本宮清吉 | 昭和56年9月2日 |
| 習志野LC | 故L日野下勝次 | 昭和56年10月2日 |
| 市川LC | 故L江尻平八郎 | 昭和56年10月25日 |

編・集・後・記

万山錦秋の候も過ぎ、忽ちにして凄涼の晩秋を迎えました。秋の日は釣瓶落としとか、日脚もめっきり短くなりましたが、皆様には、お元気でライオンズにご精進のことと存じます。

わが吉原ガバナーには、9月12日、5R2Zを皮切りに、精力的に公式訪問をスタートされましたが、10月23日、1R2Zを限りとして、実質的に無事、日程を了められ、あとはホームZ各クラブを残すのみとなりました。式典調を避ける公式訪問本来の姿と、心と心のふれ合いを求める普段着の例会訪問の考え方、それに旧師を慕うが如き式場理念の継承観は、ガバナー

の人格共々、広く永く、全地区にのこされることでありましょう。

今期のメインイベントともいえるべき日本ライオンズ30周年全国大会も、世界ライオンズ奉仕デーの10月8日、日本武道館において、皇太子殿下同妃殿下ご台臨のもとに、盛大に挙行されました。

会員増強月間の成果は如何でしたか? 12月初旬、東洋東南アジアフォーラムが終ると、来年が駆け足でやってきます。

少しばかり早いご挨拶ながら、どうぞ、よいお年を。(H. I. 記)